

IBC Press Release

平成28年9月15日

IBC岩手放送 震災復興キャンペーンラジオCM 日本民間放送連盟賞 優秀賞 受賞

「忘れない3.11キャンペーン 赤沼ヨシさん編」

東日本大震災の発生から5年半。IBC岩手放送が継続して行っている放送活動が高い評価を受けました。

平成28年日本民間放送連盟賞のラジオCM第2種(21秒以上)部門で、「忘れない3.11」をテーマに放送を続けているIBC岩手放送のラジオキャンペーンCM「忘れない3.11キャンペーン 赤沼ヨシさん編」が優秀賞を受賞しました。

同部門には全国の民放25社から51作品の応募があり、この中から優秀賞6作品と最優秀賞1作品が選ばれたものです。

IBC岩手放送は今後も被災地の放送局として、県民・被災地の目線で地域に寄り添った放送を続け、全国に被災地・岩手の情報を発信してまいります。

日本民間放送連盟賞 CM部門 ラジオCM第2種(21秒以上)優秀賞

「忘れない3.11キャンペーン 赤沼ヨシさん編」 150秒

(プロデューサー 高橋典子、ディレクター 千葉佳史、ナレーション 神山浩樹、取材 瀬谷佳子)



【写真】赤沼ヨシさん(当時98歳)(平成28年3月11日撮影 宮古市田老の仮設住宅)

IBC岩手放送が平成24年から続けているキャンペーンの一環で制作したCM。

東日本大震災発生時、93歳だった宮古市在住の赤沼ヨシさんは“津波てんでんこ”—津波の時は他人にかまわず、てんでバラバラに逃げよ—の教を胸に一命をとりとめた。赤沼さんは、震災発生から5年、仮設住宅からの引っ越しを目前に他界。生前残した言葉「復興は“てんでんこ”ではできません」には、故郷復興への切なる願いが込められている。

今回は、被災者の言葉で復興への思いを伝え続ける取り組みが評価された。

- * 日本民間放送連盟賞の表彰は11月9日(水)に東京で開かれる民放大会席上で行われます。
- * この件に関するお問い合わせ先:IBC岩手放送テレビ編成部 若槻 019(623)3143